

| | |
|-----|--|
| | 資料提供 |
| | 平成23年9月13日 |
| 課名 | 被爆者支援課 (放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)事務局) |
| 担当者 | 武内・羽田 |
| 内線 | 3109 直通 228-9901 |

「In cooperation with IAEA 2011 HICARE 国際シンポジウム」

～放射線の人体影響：放射線被ばく者医療の国際的なネットワークの確立に向けて～
の開催について

1 概要

広島原爆被爆者治療と研究実績の経験を生かした、20年間にわたる放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE=ヒカア)の国際協力の成果を発信するとともに、昨年8月に、国際原子力機関(IAEA)と取り交わした「放射線被ばく者医療分野の協働に関する覚書」による最初の取組として、国際シンポジウムを開催する。

2 開催内容

- (1) 日時 平成23(2011)年11月23日(祝) 12:30～17:30 [一般公開]
24日(木) 8:50～15:00 [医療関係者のみ]
- (2) 場所 広島国際会議場「ヒマワリ」(広島市中区中島町)(入場無料,日英同時通訳付)
- (3) 内容
 - ・ 基調講演 【テーマ】IAEAの取組：科学技術で人類の基本的なニーズを満たす
【講師】国際原子力機関(IAEA)事務局次長 モハマド・ダウド
 - ・ シンポジウム 【テーマ】被ばく者医療の国際的な取組に向けて
【パネリスト】(社)広島県医師会長 碓井静照, (財)放射線影響研究所理事長 大久保利晃,
福島県立医科大学教授 安村誠司, (株)中国新聞社客員論説委員 山内雅弥,
広島県知事 湯崎英彦 ※50音順
【コメンテーター】IAEA事務局次長 モハマド・ダウド
【コーディネーター】HICARE代表幹事((社)広島市医師会運営・安芸市民病院副院長)
柳田実郎
 - ・ 特別講演 【テーマ】福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ：緊急被ばく医療体制の現状と課題
【講師】広島大学救急医学教授 谷川攻一氏
 - ・ セミナー 【テーマ】放射線の人体影響等 ※詳細は別紙のとおり
- (4) 対象者 ・一般 ・世界各国の放射線被ばく医療関係者
- (5) 主催 HICARE, 広島県
- (6) 共催 国際原子力機関(IAEA), (社)広島県医師会, (社)広島市医師会
- (7) 後援 外務省, 文部科学省, 厚生労働省, 経済産業省, 国際協力機構(JICA),
広島市, 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)

3 申込受付

9月20日(火)から開始



In cooperation with 国際原子力機関 (IAEA)

2011 HICARE 国際シンポジウム

〈原爆被爆者指定医療機関等医師研究会〉



放射線の人体影響

放射線被ばく者医療の

国際的なネットワークの確立に向けて――

■日本医師会認定産業医(産業医学)基礎研修 (申請中) ■日本医師会生涯教育講座

【日時】2011年 **11月23日**(祝・水) 12:30～17:30(開場12:00)

11月24日(木) 8:50～15:00(開場8:20)

【場所】**広島国際会議場 地下2階「ヒマワリ」**
(広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)

入場料無料・日英同時通訳付

【内容】**11月23日(祝・水)** どなたでも参加できます

参加者募集

※詳細は、裏面を御覧ください

- 基調講演「IAEAの取組：科学技術で人類の基本的なニーズを満たす」
講師：モハマド・ダウド 国際原子力機関(IAEA)事務局次長
座長：土肥博雄 HICARE会長(広島赤十字・原爆病院長)
- シンポジウム「被ばく者医療の国際的な取組に向けて」
パネリスト：碓井静照(社)広島県医師会会長、大久保利晃(財)放射線影響研究所理事長、
安村誠司 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座教授、山内雅弥(株)中国新聞社客員論説委員、
湯崎英彦 広島県知事(50音順, 敬称略)
コメンテーター：モハマド・ダウド 国際原子力機関(IAEA)事務局次長
コーディネーター：柳田実郎 HICARE代表幹事((社)広島市医師会運営・安芸市民病院副院長、(社)広島県医師会常任理事)
- 特別講演「福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ：緊急被ばく医療体制の現状と課題」
講師：谷川攻一 広島大学救急医学教授
座長：佐々木英夫 HICARE幹事((財)広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長)

11月24日(木) 医療関係者に限ります

- セミナー I～IV, 総括セミナー 詳しくは裏面をご覧ください

主催／放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)、広島県

共催／国際原子力機関(IAEA)

(社)広島県医師会、(社)広島市医師会

後援／外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、

広島市、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)

INFORMATION

放射線被曝者医療国際協力推進協議会事務局

HICARE (Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed)

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁本館6階 広島県被爆者支援課内

TEL (082)228-9901 FAX (082)228-3277

URL <http://www.hicare.jp/> E-mail hicare3@hicare.jp



2011 HICARE 国際シンポジウム〈原爆被爆者指定医療機関等医師研究会〉

放射線の人体影響 放射線被ばく者医療の国際的なネットワークの確立に向けて—

| 第1日目 11月23日(祝・水) | | 第2日目 11月24日(木) | |
|------------------|--|----------------|---|
| 12:30~12:55 | 開会挨拶 | 8:50~9:00 | レビュー |
| 12:55~13:05 | 来賓挨拶 | 9:00~9:40 | 講演 「原爆被爆者援護行政について」 講師:厚生労働省健康局総務課 高城亮 |
| 13:05~13:55 | 基調講演 「IAEAの取組:科学技術で 人類の基本的なニーズを満たす」 講師:IAEA事務局長 モハマド・ダウド 座長:HICARE会長 土肥博雄 | 9:40~10:30 | セミナーⅠ 「被爆者健康管理の意義, 課題と今後の方策」 講師:(財)広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長 佐々木英夫 |
| 13:55~14:10 | 休憩 | 10:30~10:40 | 休憩 |
| 14:10~15:40 | シンポジウム 「被ばく者医療の国際的な取組に向けて」 コーディネーター:HICARE 代表幹事 柳田実郎 | 10:40~11:30 | セミナーⅡ 「NASHIMの活動:これまでとこれから」 講師:長崎大学医歯薬学総合研究科 高村昇 |
| 15:40~15:50 | 休憩 | 11:30~12:20 | セミナーⅢ (KIRAMS) 「韓国における緊急被ばく医療の現状と強化策」 講師:韓国原子力医科学院 (KIRAMS)・ 国立緊急被ばくセンター長 リ・ソンスク |
| 15:50~16:20 | HICARE 研修生による発表 | 12:20~13:10 | 昼食 |
| 16:20~17:20 | 特別講演 「福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ: 緊急被ばく医療体制の現状と課題」 講師:広島大学救急医学教授 谷川攻一 座長:HICARE幹事 佐々木英夫 | 13:10~14:00 | セミナーⅣ (1単位) 「福島第一原子力発電所事故と低線量放射線の人体影響」 講師:広島大学原爆放射線医学研究所 所長 神谷研二 |
| 17:20~17:30 | 閉会挨拶 | 14:00~14:50 | 総括セミナー (1単位) 「原爆放射線の人体影響」 講師:(財)放射線影響研究所 主席研究員 児玉和紀 |
| | | 14:50~15:00 | 閉会挨拶 |

注1:()内の数字は,日本医師会認定産業医(産業医学)基礎研修の単位数 注2:全日程が日本医師会生涯学習講座の対象(単位数:4.5単位)

参加者募集

入場無料

■定員になり次第、
締切とさせていただきます

■一般の方

11月23日のみ一般公開講座として、参加者を募集します。
参加希望の方は、下記参加申込書にご記入の上、FAX、E-mail
もしくはHICAREホームページ内専用フォームにてお申込ください。

■医療関係者
の方

11月23日24日両日とも参加者を募集します。
参加希望の方は、HICAREホームページ内専用フォームよりお申込みください。

ホームページURL <http://www.hicare.jp/> HICARE 検索

キリトリ

お問い合わせ
お申し込み

放射線被曝者医療国際協力推進協議会事務局

HICARE (Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed)

FAX (082) 228-3277 E-mail hicare3@hicare.jp

URL <http://www.hicare.jp/>

| | | | |
|------|-----|------|-------|
| ふりがな | | ご職業 | |
| お名前 | | 電話番号 | () - |
| ご住所 | 〒 - | | |

※ご記入いただく個人情報については、本シンポジウム募集に関して、申し込み内容の確認などでのみ利用いたします。※入場券等発行いたしません。当日受付にて、お名前をお伺いします。



ダウド モハマド

Daud Mohamad, Ph.D.

**Deputy Director General and Head of Department of Nuclear Science and Applications,
IAEA 国際原子力機関 (IAEA) 事務局次長、原子力科学・応用局長**

家族：妻、子6人

学歴 マレーシア・ケバングサーン (Kebangsaan) 大学 (学士)
カナダ・マクマスター (McMaster) 大学 (修士)
英・グラスゴー/スコティッシュ大学 (博士；高度放射性廃棄物処理について)

1978年 (昭和53年) マレーシア原子力委員会 (Nuclear Malaysia) 創設メンバーの一人として加入

2004年 (平成16年) 9月～2010年 (平成22年) 12月 マレーシア原子力委員会委員長

2001年 (平成13年)～2010年 (平成22年) IAEA放射線防護と安全処理についての研修・教育に関する運営委員会メンバー

2008年 (平成20年)～2010年 (平成22年) IAEA原子力の応用に関する常任諮問グループ (SAGNA) メンバー

→ IAEA加盟国における原子力機関の自立・持続の専門家ミッションを編成し、アジア太平洋諸国を多数訪問。

2011年 (平成23年) 1月～ 現職

マレーシア放射線防御学会 (MARPA) 会長、マレーシア科学研究学会 (MARS) 会長